

2 経営指標の推移（令和2～6年度）

（1）各指標の推移

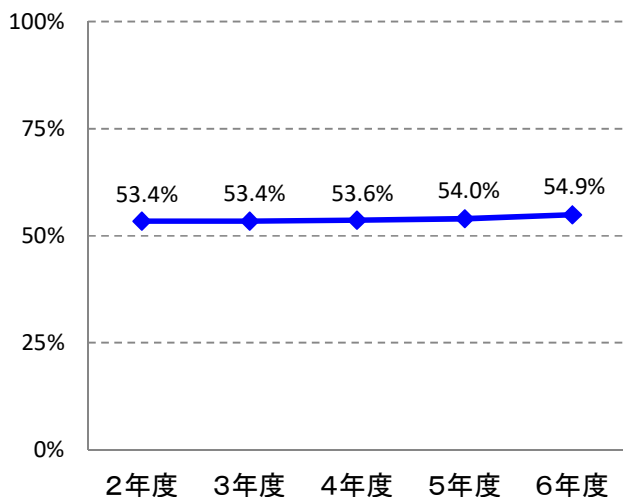
① 施設指標

施設利用率

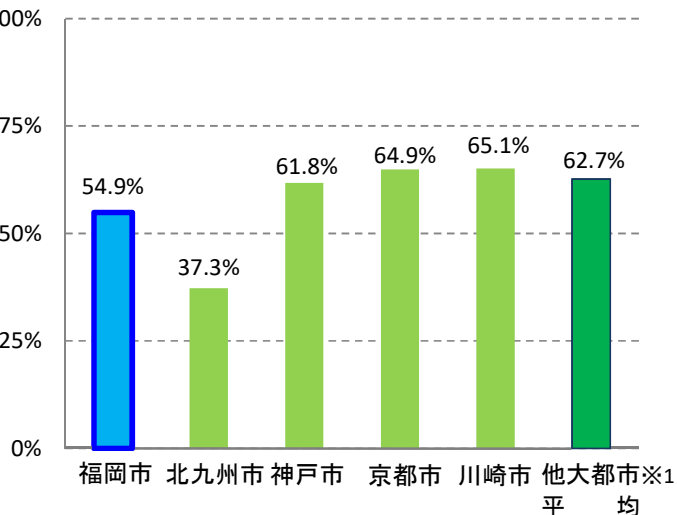
一日給水能力に対する一日平均給水量の割合により、水道施設の利用状況を示す指標です。

$$\frac{\text{一日平均給水量}}{\text{一日給水能力}} \times 100$$

施設利用率の推移



令和6年度 大都市比較



※1: 他大都市とは、千葉市・相模原市・福岡市を除く
政令指定都市17都市及び東京都

※2: グラフ記載の4都市は、福岡県内政令市の北九州市のほか、給水人口が同規模の都市を選定

（評 価）

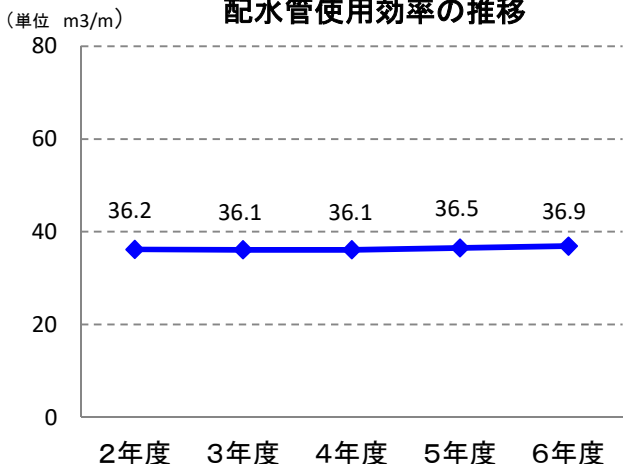
- ・当指標は、値が高いほど、効率的に施設が利用されていることを示していますが、高すぎると浄水場の清掃や施設更新時などに余力が少ないことになります。
- ・他大都市平均と比較すると低くなっていますが、現在進めている浄水場の再編により、施設規模の縮小を図ることとしており、これにより施設利用率は上昇する見込みです。

配水管使用効率

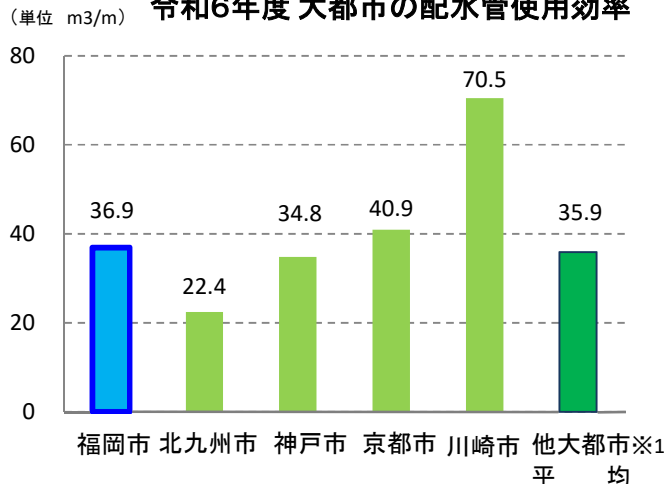
導水管・送水管・配水管延長に対する年間の総配水量の割合により、管を効率的に使用しているかを示す指標です。

$$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{管路延長}}$$

配水管使用効率の推移



令和6年度 大都市の配水管使用効率



（評 価）

- ・当指標は、値が高いほど、管を効率的に使用していることを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると同程度となっていますが、当該指標は、都市の地理状況や人口密度、市民の節水への取組状況等によって、左右されます。

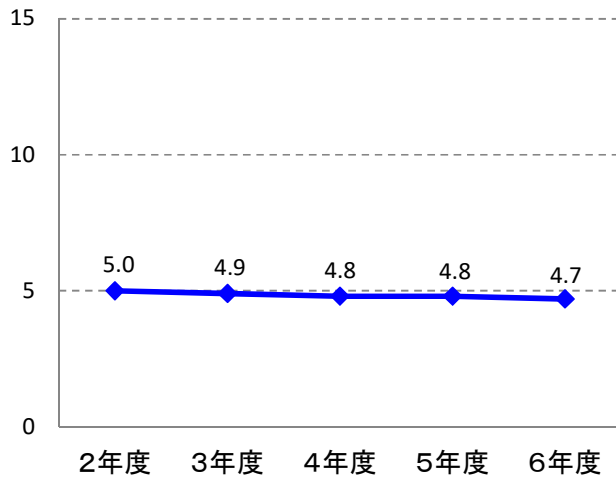
固定資産 使用効率

水道施設が効率的に整備、使用されているかを示す指標です。

$$\frac{\text{年間総給水量}}{\text{有形固定資産}}$$

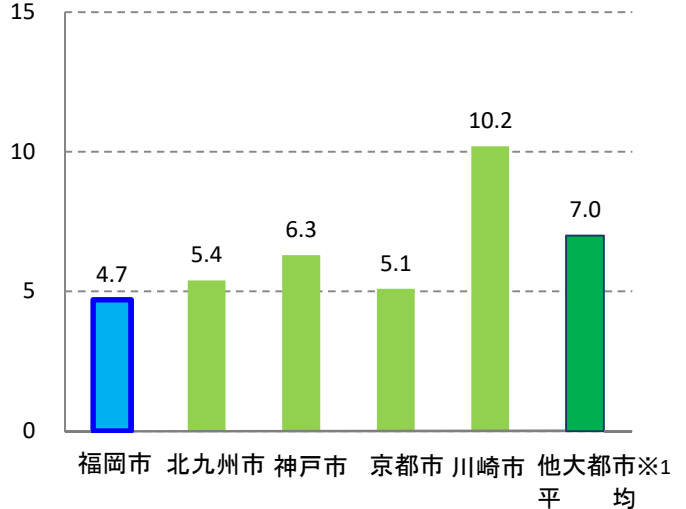
(単位 m3/万円)

固定資産使用効率の推移



(単位 m3/万円)

令和6年度 大都市の固定資産使用効率



(評価)

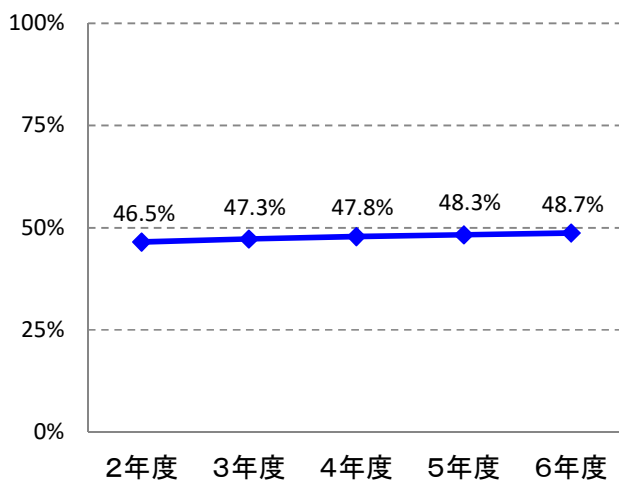
- ・当指標は、値が高いほど、効率的な施設利用が行われていることを示していますが、一方で、水道施設の更新を適切に行わずに固定資産額が減少している場合も値は高くなります。
- ・他大都市平均と比較すると低くなっていますが、福岡市が地理的に水資源に乏しく、これまでダム等の水源開発に取り組んできたことから、固定資産が多くなっているためです。

有形固定資産 減価償却率

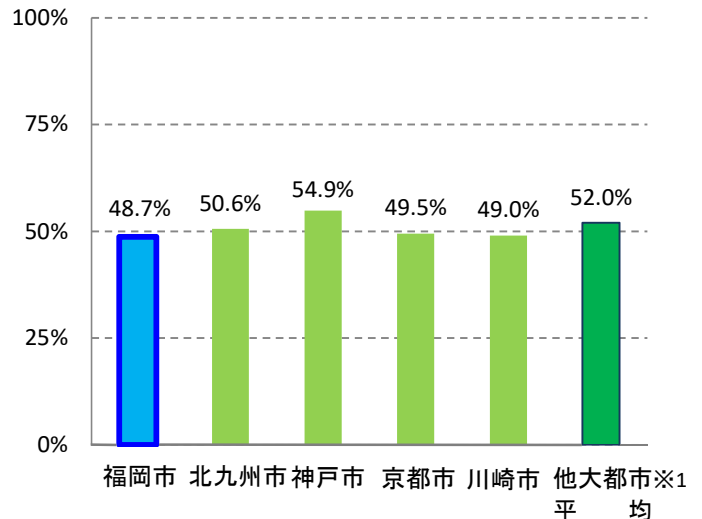
有形固定資産のうち、償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを示す指標です。

$$\frac{\text{有形固定資産の減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$$

有形固定資産減価償却率の推移



令和6年度 大都市の有形固定資産減価償却率



(評価)

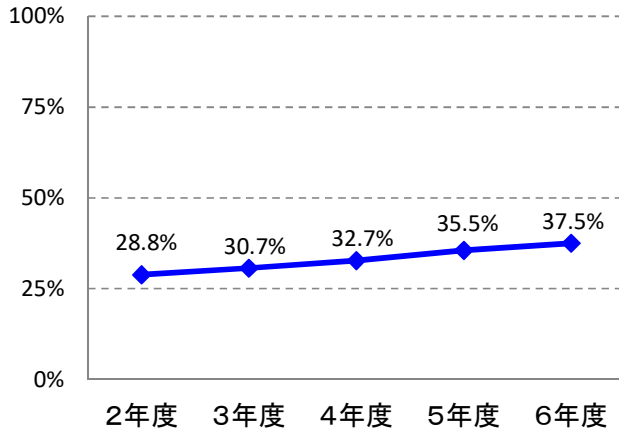
- ・当指標は、値が低いほど、水道施設の老朽化が進行していないことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると、やや低くなっており、計画的に水道施設の更新を行っていることによるものです。

管路経年化率

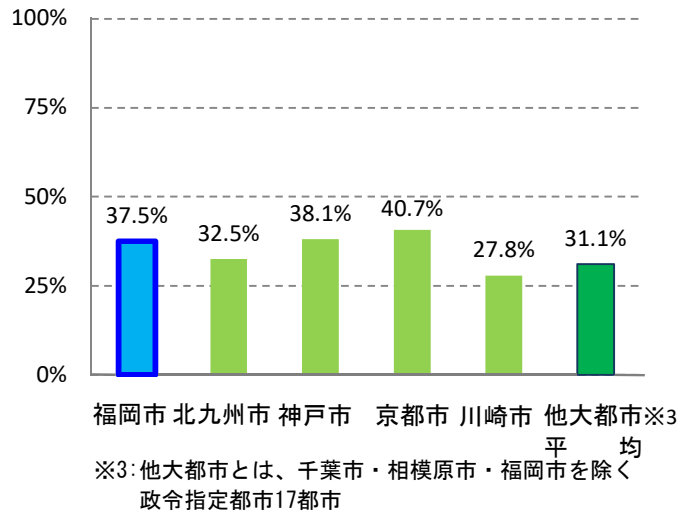
法定耐用年数を超えた管路(導送配水管)延長の割合を示す指標です。

$$\frac{\text{法定耐用年数超過管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$$

管路経年化率の推移



令和6年度 大都市の管路経年化率



(評価)

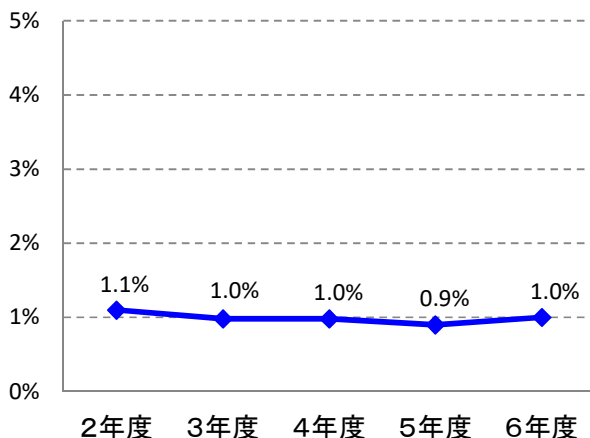
- ・当指標は、値が低いほど、法定耐用年数(40年)を超えていない管の割合が高いことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると、やや高くなっていますが、管の耐用年数は、管の腐食状況や埋設環境によって、大きく異なるため、管の腐食状況等を考慮した「実質的な耐用年数(40年～120年)」を設定し、計画的な更新を行っています。

管路更新率

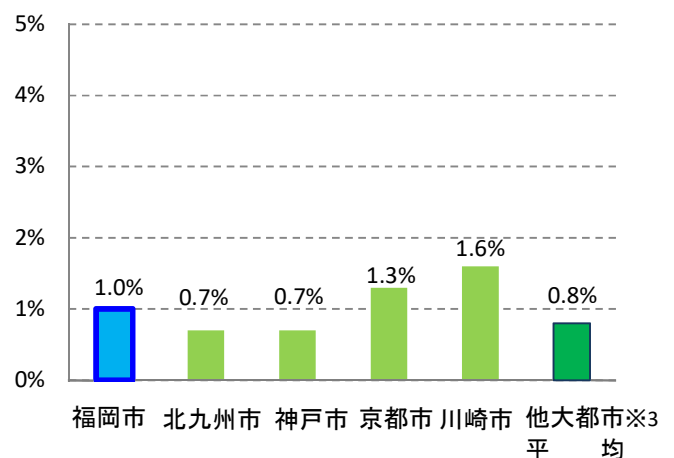
各年度に更新した管路(導送配水管)延長の割合を示す指標です。

$$\frac{\text{更新管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$$

管路更新率の推移



令和6年度 大都市の管路更新率



(評価)

- ・当指標は、値が高いほど、当該年度に更新した管の割合が高いことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると同程度となっており、今後も計画的に更新していきます。

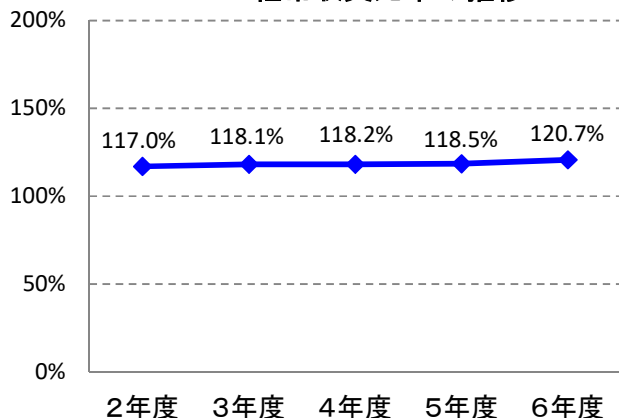
② 財務指標

経常収支比率

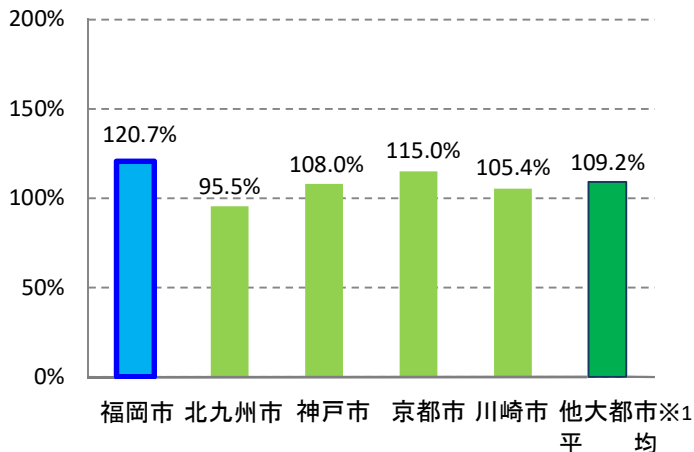
水道事業における収支のバランスを比較し、経営の安定性を示す指標です。

$$\frac{\text{経常収益 (営業収益+営業外収益)}}{\text{経常費用 (営業費用+営業外費用)}} \times 100$$

経常収支比率の推移



令和6年度 大都市の経常収支比率



(評価)

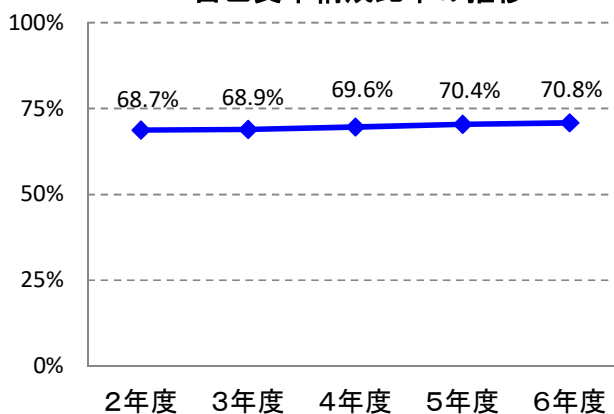
- ・当指標は、値が高いほど、経常的な利益率が高いことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると高くなっており、健全な経営状況を維持しています。

自己資本構成比率

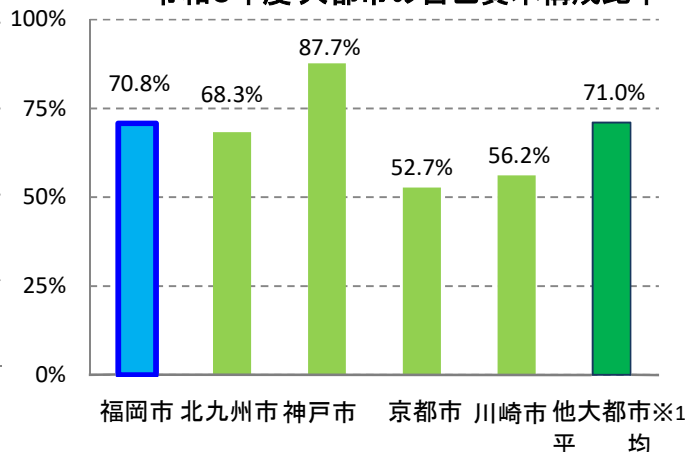
総資本に対する自己資本の占める割合を比較し、企業の安定度を示す指標です。

$$\frac{\text{資本金+剰余金+繰延収益}}{\text{負債+資本 合計}} \times 100$$

自己資本構成比率の推移



令和6年度 大都市の自己資本構成比率



(評価)

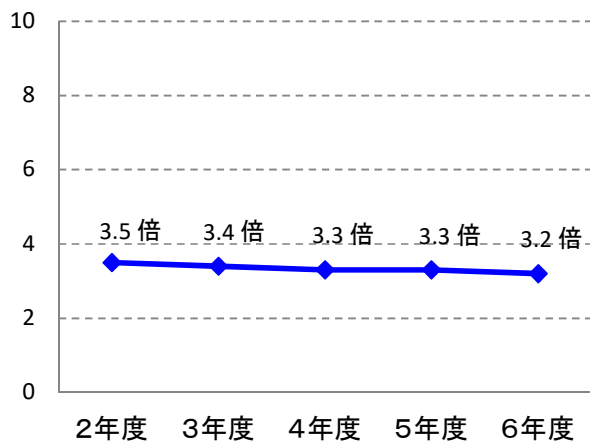
- ・当指標は、値が高いほど、総資産を借入金に頼らず自己資本により構成している割合を示しています。
- ・他大都市平均と比較すると、同程度となっており、今後とも企業債残高の縮減等により、自己資本構成比率を高めていきます。

料金収入・企業債 残高比率

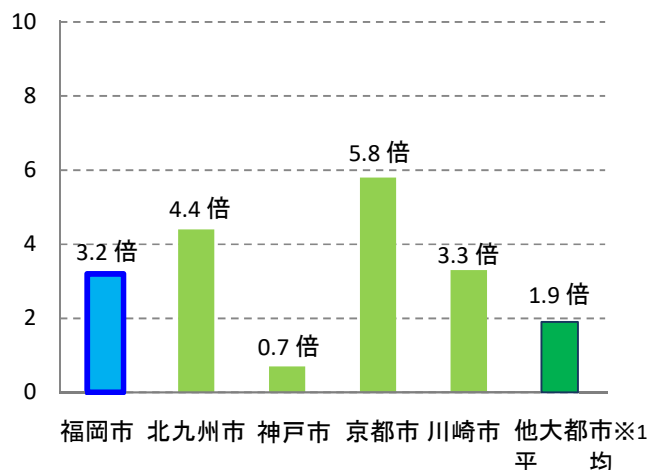
料金収入に対する企業債残高の割合により、企業債残高の相対的な大きさを示す指標です。

$$\frac{\text{企業債残高}}{\text{料金収入}}$$

料金収入・企業債残高比率の推移



令和6年度 大都市の
料金収入・企業債残高比率



(評 価)

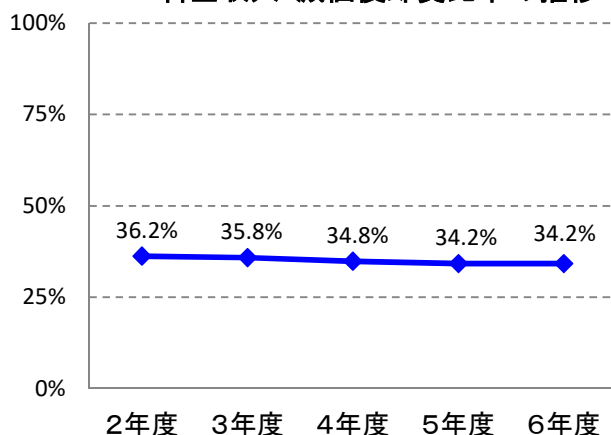
- ・当指標は、値が低いほど、今後の支払利息や企業債の償還額が小さくなり、将来の財政状況が安定することを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると高くなっていますが、地理的に水資源に恵まれず、多額の企業債を活用して水源開発を行ってきたことから、高い水準となっており、今後も企業債残高の縮減に努めていきます。

料金収入・減価償却費 比率

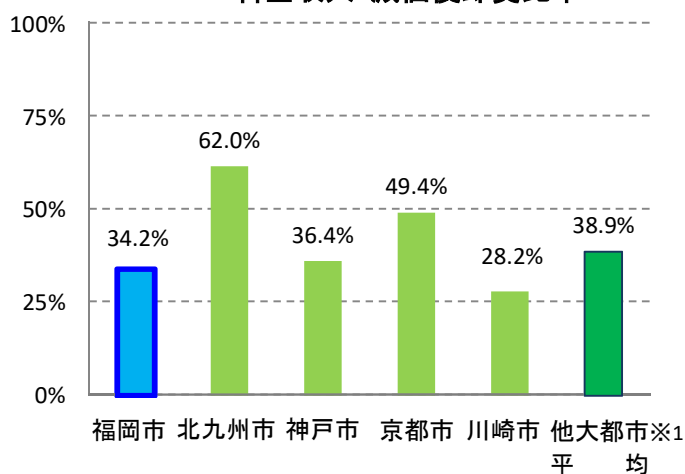
料金収入に対する減価償却費の割合により、減価償却費の相対的な大きさを示す指標です。

$$\frac{\text{減価償却費}}{\text{料金収入}} \times 100$$

料金収入・減価償却費比率の推移



令和6年度 大都市の
料金収入・減価償却費比率



(評 価)

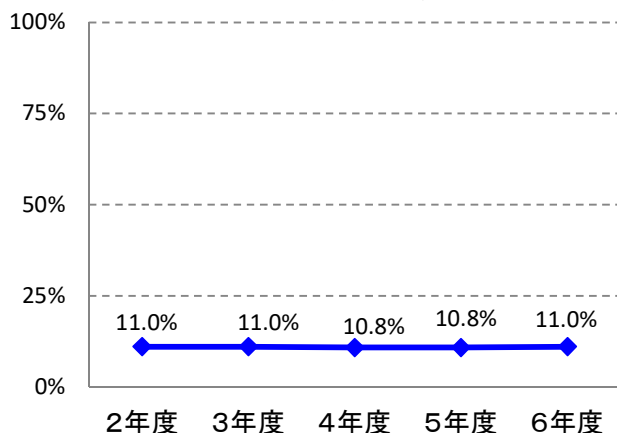
- ・当指標は、値が低いほど、資産形成の投資を行ったことにより生じる減価償却費の割合が低いことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると、やや低くなっていますが、浄水場再編事業完了後の減価償却の開始により、上昇する見込みです。

料金収入・職員給与費比率

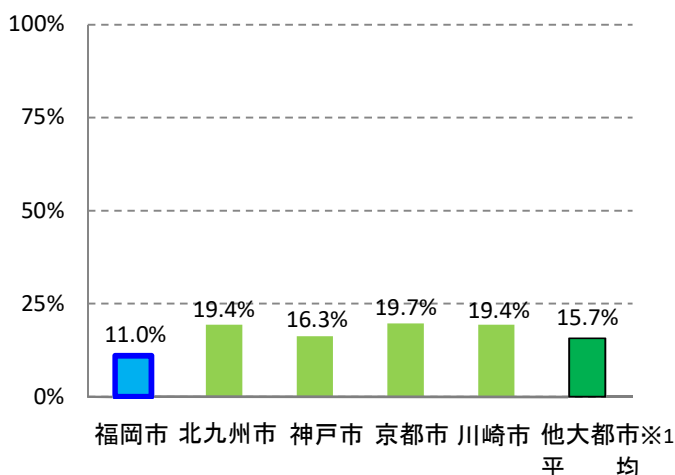
料金収入に対する職員給与費の割合により、人件費の相対的な大きさを示す指標です。

$$\frac{\text{職員給与費}}{\text{料金収入}} \times 100$$

料金収入・職員給与費比率の推移



令和6年度 大都市の
料金収入・職員給与費比率



(評価)

- ・当指標は、値が低いほど、固定費の人件費によって、財政状況が硬直化していないことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると低くなっており、効率的な組織体制の整備により、健全な財政状況を維持しています。

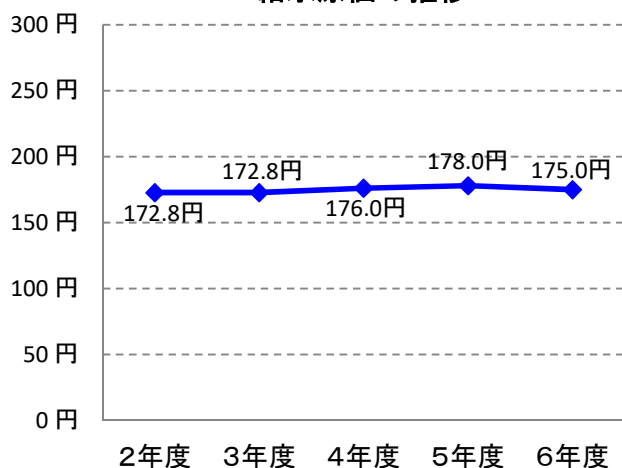
③ 料金指標

給水原価

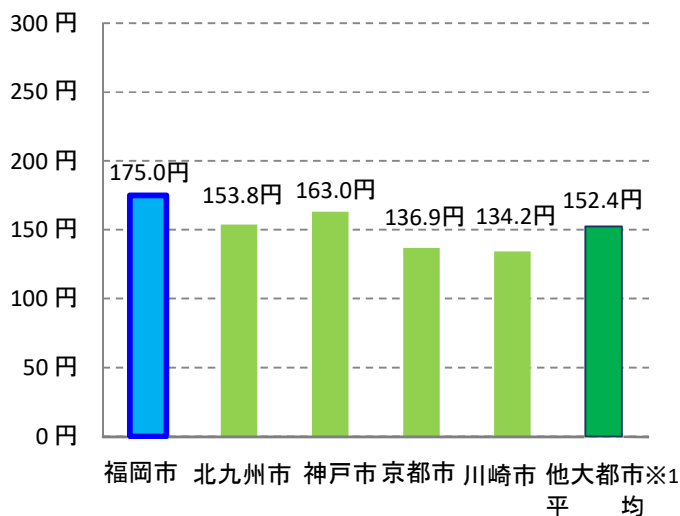
料金水量1立方メートル当たりの給水原価を示す指標です。

$$\frac{\text{総費用－関連収入}}{\text{年間総料金水量}}$$

給水原価の推移



令和6年度 大都市の給水原価



(評価)

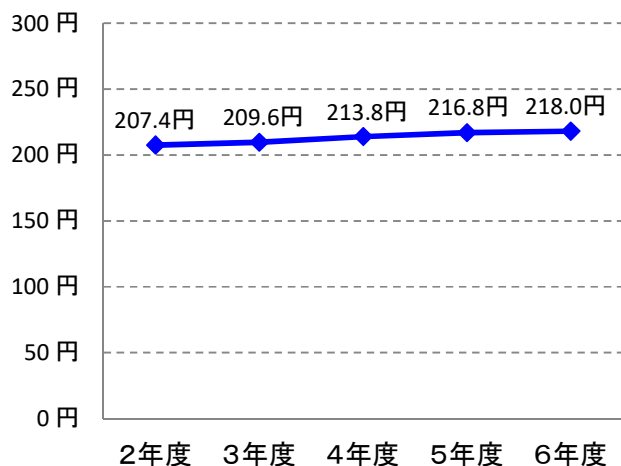
- ・当指標は、値が低いほど、給水のための原価が安いことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると高くなっていますが、福岡市は、市内に一級河川がないなど、地理的に水資源に恵まれず、水源開発等に多額の投資を要しており、また、必要な水量を確保するために多くの水源を市域外に頼っていることによるものです。

供給単価

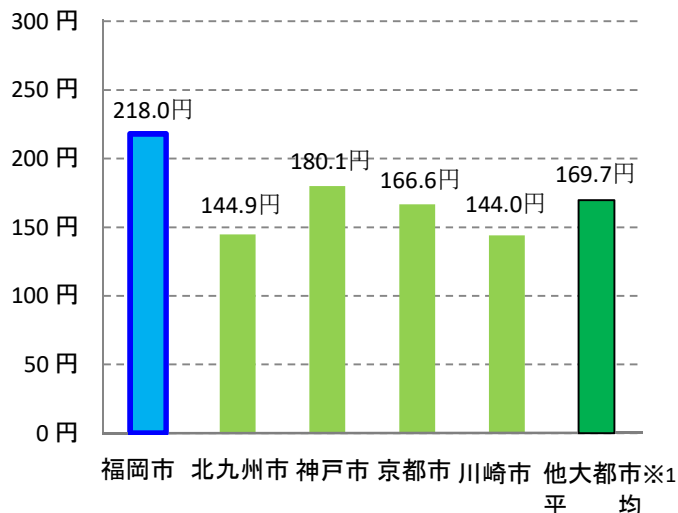
料金水量1立方メートル当たりの供給単価を示す指標です。

$$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総料金水量}}$$

供給単価の推移



令和6年度 大都市の供給単価



(評価)

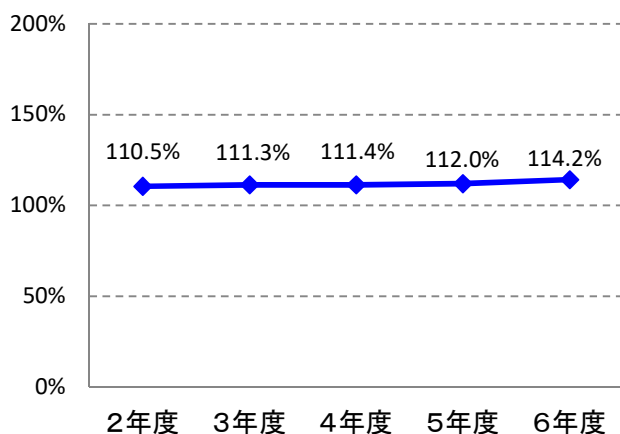
- ・当指標は、値が低いほど、水を供給するための単価が安いことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると高くなっていますが、福岡市は、多額の企業債を活用して水源開発等に投資を行ってきており、減価償却や支払利息などの負担が大きく、給水原価が高くなっているため、それに見合う料金水準としているものです。

料金回収率

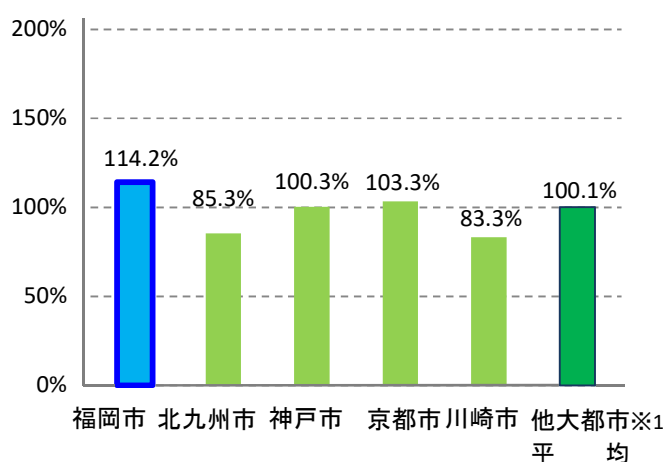
給水に係る費用が、どの程度料金収入で賄えているかを示す指標です。

$$\frac{\text{料金収入}}{\text{経常費用－長期前受金戻入等}} \times 100$$

料金回収率の推移



令和6年度 大都市の料金回収率



(評価)

- ・当指標は、値が高いほど、事業に必要な費用を料金収入で賄えていることを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると、高くなっており、利益を着実に確保することにより、企業債償還や施設更新を行うことができます。

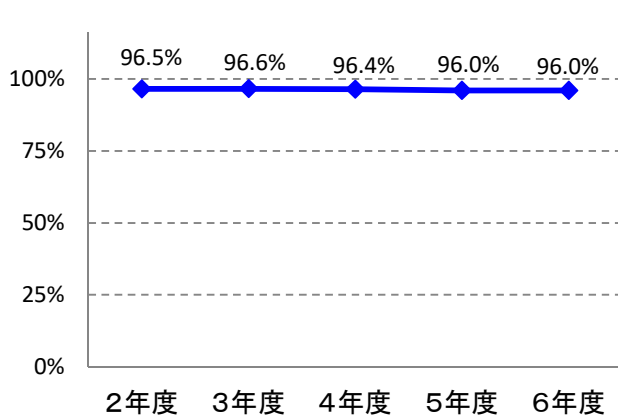
④ 配水効率

有 収 率

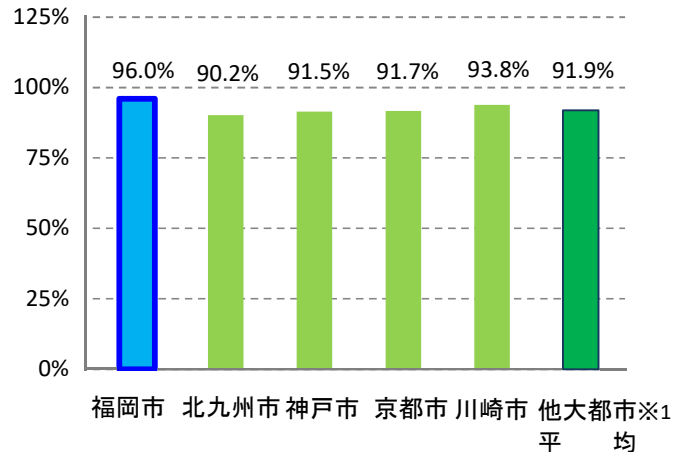
給水量のうち料金徴収の対象となる水量の割合を示す指標です。

$$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総給水量}} \times 100$$

有収率の推移



令和6年度 大都市の有収率



(評 価)

- ・当指標は、値が高いほど、料金徴収の対象とならない漏水等が少なく、効率的な水運用が行われていることを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると高くなっており、福岡市は、計画的な配水管の整備、漏水防止調査や配水調整システムによる効率的な水運用等により、世界トップの低い漏水率を誇っています。

(2) 経営指標の総括

- 福岡市は、政令指定都市で唯一、市域内に一級河川を有していないなど、地形的に水資源に恵まれていないことから、これまでに企業債を活用しながら水源開発を行ってきたため、「料金収入・企業債残高比率」や「給水原価」は、他大都市平均と比較して高くなっています。
しかしながら、これまで組織体制の最適化や、業務の見直しなど、経営の効率化に取り組んできた結果、「経常収支比率」と「料金回収率」については、他大都市平均と比較して高い水準にあり、安定した経営状況を維持しているといえます。
- なお、施設利用の効率性を示す「施設利用率」は、他大都市平均と比較して低くなっていますが、現在進めている浄水場の再編により施設規模の縮小を図ることとしており、今後上昇する見込みです。
また、「管路経年化率」については、他大都市平均と比較すると、やや高くなっているため、平成29年度から配水管の更新ペースを拡大しており、令和8年度までに、腐食状況等を考慮した「実質的な耐用年数」を超過する管を全て解消できる見込みです。
こうした、計画的な配水管の更新や漏水調査等により、「有収率」は、他大都市の中で最も高く、漏水が少ない効率的な水運用等により、世界トップの低い漏水率を維持しています。
- 今後も、水道事業を取り巻く様々な環境の変化や課題に的確に対応しながら、ICT技術の積極的な活用による業務の効率化など、より一層の計画的・効率的な事業運営を進めることにより、主要事業の推進と財政健全化の両立を図るなど、持続可能な水道事業の構築に向け、取り組んでまいります。

3 第2次「福岡市水道中期経営計画」（令和3～6年度）の実施状況

（1）主要事業の実施状況

「福岡市水道長期ビジョン 2028」の実施計画である第2次「福岡市水道中期経営計画」（令和3～6年度）における主要事業の実施状況については、以下のとおりです。

＜第2次「福岡市水道中期経営計画」の実施状況の評価＞

実施状況は、事業の進捗状況や成果指標等を総合的に勘案し、次の4段階で評価を行っている。

◎：順調 ○：概ね順調 △：やや遅れている ×：遅れている

（評価区分は、「福岡市基本計画に係る実施状況の報告」に準拠）

第2次「福岡市水道中期経営計画」（令和3～6年度）の実施状況			
主要事業	事業計画	主な実績	実施状況
【施策目標1】 水の安定供給と節水型都市づくりの推進			
（1）水資源の開発			
1 五ヶ山ダムの建設	○ 渇水対策容量を持つダムの建設 （平成29年度建設事業完了）	- 平成30年3月 建設事業完了 - 令和2年12月 試験湛水完了 - 令和3年1月 供用開始	完成 (R3.1月)
（2）水道施設の維持・更新			
1 水源・浄水場の整備	○ 取水場から浄水場へ水を送る導水管や浄水場等設備の更新	- 南畑系導水管の更新 - 夫婦石浄水場、多々良浄水場等の設備の更新	◎ 順調
2 浄水場の再編	○ 高宮浄水場の浄水機能を乙金浄水場に統合、高宮浄水場は、緊急時給水拠点機能を持つ配水場として再整備	- 乙金浄水場の増強 - 高宮系送水管の整備	○ 概ね順調
3 配水管の整備	○ 老朽化した配水管の更新や給水申込等の新設 ・更新 180 km ・新設 22 km 合 計 202 km	・更新 168 km ・新設 15 km 合 計 183 km	○ 概ね順調
（3）水の有効利用			
1 配水調整システムの整備	○ 配水管の水の流量や水圧を調整する遠方監視制御装置の更新 等 ・更新 59箇所	・更新 57箇所	○ 概ね順調
2 漏水防止調査	○ 公道部の配水管・給水管の漏水調査 ・漏水調査延長 11,840 km	・漏水調査延長 11,910 km	◎ 順調
3 給水管の漏水対策	○ 漏水が発生した給水管の応急修理及び老朽化した給水管の取替工事 ・漏水発生給水管応急修理 5,200件 ・漏水防止給水管取替 5,400件	・漏水発生給水管応急修理 5,162件 ・漏水防止給水管取替 5,352件	○ 概ね順調
4 「水をたいせつに」広報の推進	○ 水を大切に使う節水意識の維持を図るための広報	・「水をたいせつに」キャンペーンの実施 ・広報紙「みずだより」の発行	○ 概ね順調

第2次「福岡市水道中期経営計画」（令和3～6年度）の実施状況			
主要事業	事業計画	主な実績	実施状況
【施策目標2】 安全で良質な水道水の供給			
(1) 水源かん養機能の向上と水源地域・流域との連携・協力			
1 水源かん養林の整備	○ 水道局が所有する水源かん養林の整備、市外にある福岡市関連ダム周辺の水源かん養林の整備を支援 ・整備面積 280ha	・整備面積 200ha	○ 概ね順調
2 水源地域・流域との交流	○ 植樹や下草刈り等の活動を通じた水源地域との交流等	・「ひと山まるごとガーデニング」 ・「200 海里の森づくり事業」	○ 概ね順調
(2) 水質管理の充実			
1 水質検査の充実	○ 検査技術の向上や水質検査機器の計画的な更新	・水質検査機器の更新、保守点検 ・水質検査計画の策定	◎ 順調
2 福岡市独自の水質目標による水質管理	○ 国の水質基準等よりも厳しい福岡市独自の水質目標による水質管理の徹底	・連続水質監視装置による水質の常時監視 ・残留塩素濃度の調整	◎ 順調
(3) 給水栓における水質保持			
1 小規模貯水槽の適正管理の啓発	○ 水道法で清掃等の義務付けのない小規模貯水槽の適正管理の啓発 ・啓発資料の送付 18,000 件	・啓発資料の送付 17,932 件	◎ 順調
2 直結式給水の普及促進	○ よりフレッシュな水道水を直接お届けできる直結式給水の普及促進	・広報紙やホームページ等の広報媒体によるPR活動 ・直結給水率（R6 年度末） 59.5% ・学校施設の直結給水化促進のため、流量調査及び公道部の給水管引込工事を実施	◎ 順調

第2次「福岡市水道中期経営計画」（令和3～6年度）の実施状況			
主要事業	事業計画	主な実績	実施状況
【施策目標3】 危機管理対策の推進			
（1）地震等災害対策の推進			
1 重要施設の耐震化	○ 「福岡市水道施設耐震化計画」に基づく導・送・配水管の耐震化	・ 新設や更新時に耐震管を使用 ・ 管路の耐震化率 63.2%	◎ 順調
2 耐震ネットワーク工事の推進	○ 避難所等への給水ルート耐震化 ・ 整備施設数 18箇所	・ 整備施設数 18施設 ※令和6年度で対象施設256施設の給水ルートの耐震化が全て完了	◎ 順調
3 重要施設の耐水化	○ 浄水場等の重要な水道施設の耐水化	・ 塩原送水ポンプ場の耐水化 ・ 水道局本庁舎の耐水化	◎ 順調
4 様々な自然災害への備え	○ 地震をはじめ、台風や豪雨、落雷、寒波など、様々な自然災害に対しても迅速かつ的確に対応できるよう、各種災害対策マニュアルの整備・見直し	・ 各種災害対策マニュアルの整備・見直し	◎ 順調
（2）事故・テロ等対策の推進			
1 水道施設のセキュリティの確保	○ 不審者侵入防止対策の徹底 ○ 緊急時対応マニュアルの適宜見直し	・ 機械警備等による不審者侵入防止対策の実施 ・ 浄水場等の監視カメラの更新 ・ 緊急時対応マニュアルの見直し	◎ 順調
2 水道原水の監視	○ 水道原水への油等の混入による水質事故の未然防止	・ かび臭物質自動計測装置の設置 ・ 取水場における油検知器の更新	◎ 順調
（3）危機管理体制等の充実			
1 危機管理対応の充実	○ 「福岡市水道局災害応急対策計画」の見直し ○ 危機管理対応力の強化	・ 令和7年度の組織編成を踏まえた「福岡市水道局災害応急対策計画」の見直し ・ 危機管理マニュアルの整備、実践的な研修・訓練の実施	◎ 順調
2 災害応急体制の充実	○ 相互応援体制の強化 ○ 災害応急体制の整備	・ 広域的な合同防災訓練の実施 ・ 給水基地の更新	○ 概ね順調

第2次「福岡市水道中期経営計画」（令和3～6年度）の実施状況			
主要事業	事業計画	主な実績	実施状況
【施策目標4】 安定経営の持続			
(1) お客さまとのコミュニケーションの推進とサービスの向上			
1 積極的な情報提供	○ 広報媒体、各種イベントを通してお客さまへ有用な情報の提供	・ 広報紙「みずだより」やパンフレットの発行 ・ こども水道教室の実施	◎ 順調
2 お客さまニーズの把握	○ お客さまサービスの向上のためのアンケート等を実施 ○ アンケート結果の分析・評価を行い事業運営に反映	・ アンケート等の実施 ・ 各種事業への反映	◎ 順調
3 ICTを活用したサービスの向上	○ お客さまの利便性の向上や情報提供の充実を図るため、ICTを活用したシステムの開発 等	令和6年1月～新サービスを開始 ・ 「福岡市水道局アプリ」の開設 ・ 「ご使用水量等のお知らせ」に音声コード（ユニボイス）の導入	◎ 順調
(2) 経営の効率化			
1 組織体制の最適化	○ 福岡市水道事業全体の組織体制の最適化	・ 適宜、組織体制の見直しを実施	◎ 順調
2 民間活力の活用	○ 民間活力の活用により経営上の効果が期待できる業務の委託の可能性を検討	・ 関係省庁等との情報交換や、他事業体の事例収集等を実施	◎ 順調
3 他水道事業体との連携	○ 他水道事業体の人材育成に貢献	・ 水道技術研修所における技術研修に他水道事業体の職員を受入れ	◎ 順調
4 水道ICTの推進	○ 水道料金系システムの再構築 ○ ICTを活用した水道施設の維持管理等の検討・検証	・ 令和6年1月～新水道料金系システム稼働 ・ IoTセンサを活用したポンプ設備点検の実装 等	◎ 順調
(3) 財政の健全化			
1 企業債残高の縮減	○ 企業債借入額を元金償還額の範囲内に抑制することによる企業債残高の縮減	・ 企業債残高の着実な縮減 令和2年度末 1,061億円 令和6年度末 1,043億円	◎ 順調
2 資産の有効活用による収入確保	○ 市有財産の有効活用による継続的な収入確保	・ 早良営業所跡地等の活用による収入の確保	◎ 順調
(4) 人材育成の推進			
1 技術の継承等による人材育成	○ 「水道局人材育成基本計画」に基づく人材育成と技術継承	・ 各職場におけるOJT、水道技術研修所における技術研修等を実施	◎ 順調
2 国際貢献活動	○ 国際貢献活動を通じた開発途上国の給水環境の改善と職員の人材育成 ○ 海外ビジネス機会の提供	・ フィジー共和国等への職員派遣や海外研修員の受入れ ・ 地場企業等への海外ビジネス機会を提供	◎ 順調
3 民間事業者等の技術力確保	○ 水道事業を支える関係者の水道技術の維持・向上	・ 専門講習会へ講師として職員を派遣 ・ 水道局主催の講習会に民間事業者や他水道事業体の職員を受入れ	◎ 順調
(5) 環境に配慮した事業運営			
1 再生可能エネルギーの活用	○ 再エネ発電設備の導入 ○ 他の施設における再エネ導入可能性の調査・検討	・ 別所接合井に小水力発電設備を導入 ・ 再エネ由来電力の調達	◎ 順調
2 省エネルギー・省資源の推進	○ 省エネルギー型の高効率機器(変圧器等)導入 ○ 建設副産物の再資源化	・ 高効率機器(変圧器、空調機、LED照明)の導入 ・ 建設副産物の再資源化と浄水汚泥の有効利用	◎ 順調

(2) 成果指標の達成状況

「福岡市水道長期ビジョン 2028」の実施計画である第2次「福岡市水道中期経営計画」（令和3～6年度）における成果指標の達成状況については、以下のとおりです。

＜第2次「福岡市水道中期経営計画」の達成状況の判断基準＞

第2次計画期末値(R6年度)に基づき、次のA、B、Cのいずれかを記載している。

A：目標に向けて順調に進んでいる

B：改善しているが、目標達成ペースを下回っている または 現状維持

C：初期値を下回っている

（数値が下がると成果が向上するものは、初期値を上回っている）

（成果指標の達成状況は、「福岡市基本計画に係る実施状況の報告」に準拠）

主要事業名	指標名	指標の定義	長期ビジョン 策定時 (H27年度)	第2次計画 期末目標値 (R6年度)
【施策目標1】 水の安定供給と節水型都市づくりの推進				
五ヶ山ダムの建設	五ヶ山ダムの建設	五ヶ山ダム建設の進捗状況	建設中	完成 (H29年度)
配水管の整備	計画期間中に優先的に更新すべき配水管の残延長(km)	腐食性が高い土壌に埋設された配水管のうち、腐食対策が施されていない管の延長	323km	69km
	実質的な耐用年数を超過した配水管の割合(%)	(埋設環境に応じた実質的な耐用年数を超過した配水管の延長/配水管の総延長)×100	5.6%	1.7%
水の有効利用等に関する事業※1	漏水率(%)	(年間漏水量/年間配水量)×100	2.3%	2.0%
「水をたいせつに」広報の推進	節水意識(%)	市政アンケートにおいて「節水に心がけている」と回答したお客さまの割合	91.5%	90%以上を維持
【施策目標2】 安全で良質な水道水の供給				
福岡市独自の水質目標による水質管理	残留塩素濃度目標(0.3～0.5 mg/L)の達成率(%)	(目標達成件数/年間検査件数)×100	82.8%	85%
	カビ臭物質濃度※2目標(0.000005 mg/L以下)の達成率(%)		100%	100%
	有機物濃度目標(1 mg/L以下)の達成率(%)		100%	100%
	総トリハロメタン濃度目標(0.04 mg/L以下)の達成率(%)		99.5%	100%
小規模貯水槽の適正管理の啓発	管理が不十分な施設へのフォローアップ実施率(%)	(フォローアップを実施した施設数/管理が不十分な施設の数)×100	—	100% (R2年度完了)
直結式給水の普及促進	直結給水率(%)	(市内の直結式給水戸数/市内の全給水戸数)×100	48.7%	56.5%

※1 水の有効利用等に関する事業：配水管の整備、配水調整システムの整備、漏水防止調査及び給水管の漏水対策

※2 カビ臭物質濃度：ジェオスミン濃度及び2-メチルイソボルネオール濃度の合計

第2次「福岡市水道中期経営計画」の達成状況					長期ビジョン 目標値 (R10 年度)	備 考
R3 年度	R4 年度	R5 年度	第2次計画 期末値 (R6 年度)	第2次計画 達成状況		
完成	完成	完成	完成	完成	完成 (H29 年度)	令和3年1月 供用開始
181km	144km	108km	72km	A	0km (R8 年度達成)	
4.5%	3.5%	2.7%	1.8%	A	0%を維持 (R9 年度以降)	
2.0%	1.8%	2.0%	1.9%	A	2.0%	
92.2%	91.1%	92.5%	89.4%	C	90%以上を 維持	現在は目標値を下回っているが、 90%前後を推移している。
88.1%	88.1%	89.4%	86.1%	A	85%	
100%	100%	99.0%	100%	A	100%	
100%	100%	100%	100%	A	100%	
100%	99.7%	100%	99.2%	B	100%	8～10月に超過した地点があったが、 検出値は国の基準値の半分以下である。
—	—	—	—	A	100%	
55.9%	57.1%	58.1%	59.5%	A	60%	

主要事業名	指標名	指標の定義	長期ビジョン 策定時 (H27 年度)	第2次計画 期末目標値 (R6 年度)
【施策目標3】 危機管理対策の推進				
重要施設の耐震化	土木構造物の耐震化率(%)	(耐震補強が完了した土木構造物の数/耐震補強が必要な土木構造物の数) × 100	78.2%	100% (R2 年度完了)
	管路の耐震化率(%)	(耐震管及び耐震性を有する導・送・配水管の延長/管路総延長) × 100	56.6%	63%
耐震ネットワーク工事の推進	耐震ネットワーク工事の整備率(%)	(整備が完了した施設数/全対象施設数) × 100	45.7%	100%
災害応急体制の充実	給水基地の整備 (箇所)	給水基地としての機能を有する施設数の合計	12 箇所	14 箇所
【施策目標4】 安定経営の持続				
積極的な情報提供、お客さまニーズの把握	水道行政への満足度(%)	市政アンケートにおいて水道行政に「満足」と回答したお客さまの割合	83.8% (直近5カ年平均値)	85%
ICT を活用したサービスの向上	ICT を活用したサービスの新規利用登録件数(件)	計画期間中における新規利用登録件数の累計	—	28 万件
企業債残高の縮減	企業債残高(億円)	年度末時点の企業債残高	1,252 億円 (H28 年度末)	1,063 億円
資産の有効活用による収入確保	資産の有効活用による貸付等の年間収入(万円)	資産の有効活用により確保した収入の年間合計	2,533 万円	8,284 万円
再生可能エネルギーの活用	再生可能エネルギーの発電出力(kW)	再生可能エネルギー設備を導入した全施設での発電出力値の合計	194kW	285kW (H29 年度達成)

第2次「福岡市水道中期経営計画」の達成状況					長期ビジョン 目標値 (R10 年度)	備考
R3 年度	R4 年度	R5 年度	第2次計画 期末値 (R6 年度)	第2次計画 達成状況		
100%	100%	100%	100%	A	完了 (R2 年度完了)	
61.4%	62.0%	62.5%	63.2%	A	68%	
93.8%	94.9%	97.3%	100%	A	100% (R6 年度完了)	
12 箇所	13 箇所	13 箇所	13 箇所	B	14 箇所 (R6 年度完了)	乙金浄水場整備工事に併せて実施 予定であったが、事業に遅れが発生したことから、令和8年度に整備するもの
85.6%	85.2%	85.7%	85.1%	A	85%	
23 万件	30 万件	40 万件	52 万件	A	40 万件	
1,050 億円	1,048 億円	1,046 億円	1,043 億円	A	1,000 億円 以下	
8,724 万円	9,649 万円	8,777 万円	8,994 万円	A	3,000 万円	土地等の売却による一時的な 収入は除く
285kW	285kW	285kW	335kW	A	285kW (H29 年度達成)	

4 第2次「福岡市工業用水道中期経営計画」（令和3～6年度）の実施状況

（1）主要事業の実施状況

「福岡市工業用水道長期ビジョン2028」の実施計画である第2次「福岡市工業用水道中期経営計画」（令和3～6年度）における主要事業の実施状況については、以下のとおりです。

＜第2次「福岡市工業用水道中期経営計画」の実施状況の評価＞

実施状況は、事業の進捗状況や成果指標等を総合的に勘案し、次の4段階で評価を行っている。

◎：順調 ○：概ね順調 △：やや遅れている ×：遅れている

（評価区分は、「福岡市基本計画に係る実施状況の報告」に準拠）

第2次「福岡市工業用水道中期経営計画」（令和3～6年度）の実施状況			
主要事業	事業計画	主な実績	実施状況
【施策目標1】 工業用水の安定供給			
（1）施設の維持・更新			
1 浄水場整備事業	○浄水場の電気・機械設備の更新	・受変電設備・ポンプ設備の更新	◎ 順調
2 配水管整備事業	○老朽化した配水管の更新 ・基幹管路 令和4年度末供用開始	・基幹管路等の更新 令和4年度末供用開始	◎ 順調
【施策目標2】 災害・危機管理対策の推進			
（1）地震等災害対策の推進			
1 重要施設の耐震化	○配水管の耐震化 ・基幹管路 令和4年度末完了	・基幹管路等の更新 令和4年度末完了	◎ 順調
2 災害等への対策の推進	○災害等対策の継続実施	・適切な維持管理体制の継続 ・バックアップ機能の適正維持	◎ 順調
【施策目標3】 安定経営の持続			
（1）ユーザー企業との相互理解の推進			
1 積極的な情報提供	○ユーザー企業への積極的な情報提供 ・経営状況説明会の実施（1回／年）	・経営状況説明会の実施 ・契約水量等に関する協議・助言	◎ 順調
2 ユーザーニーズの把握	○ユーザー企業のニーズ把握 ・アンケート調査の実施（1回／年）	・アンケート調査の実施 ・相談対応によるニーズの把握	◎ 順調
（2）経営の効率化			
1 民間活力の活用	○浄水場運転管理等の民間委託の継続実施	・金島浄水場運転管理等の民間委託の継続実施	◎ 順調
（3）財政の健全化			
1 需要拡大	○需要拡大に向けた継続的取り組み	・新規ユーザー開拓に向けた協議 ・関係部局との情報共有	◎ 順調
2 累積利益の確保	○累積利益の確保 ・令和6年度末 213,553 千円	・令和6年度末 451,577 千円	◎ 順調
3 累積資金の確保	○累積資金の計画的な確保 ・令和6年度末 314,986 千円	・令和6年度末 631,645 千円	◎ 順調

(2) 成果指標の達成状況

「福岡市工業用水道長期ビジョン 2028」の実施計画である第2次「福岡市工業用水道中期経営計画」(令和3～6年度)における成果指標の達成状況については、以下のとおりです。

＜第2次「福岡市工業用水道中期経営計画」の達成状況の判断基準＞

第2次計画期末値(R6年度)に基づき、次のA、B、Cのいずれかを記載している。

A：目標に向けて順調に進んでいる

B：改善しているが、目標達成ペースを下回っている または 現状維持

C：初期値を下回っている

(数値が下がると成果が向上するものは、初期値を上回っている)

(成果指標の達成状況は、「福岡市基本計画に係る実施状況の報告」に準拠)

主要事業名	指標説明	長期ビジョン 策定時 (H27年度)	第2次計画 期末目標値 (R6年度)
【施策目標1】 工業用水の安定供給			
配水管整備事業	総延長に占めるポリエチレンスリーブの装着率(%)	58%	85%
【施策目標2】 災害・危機管理対策の推進			
重要施設の耐震化	総延長に占める配水管の耐震化率(%)	20%	47%
	うち基幹管路の耐震化率(%)	16%	100% (R4年度まで)
【施策目標3】 安定経営の持続			
積極的な情報提供	ユーザー企業への経営状況説明等の実施及びホームページ情報(事業概要等)の更新回数(回/年)	随時実施	年1回
ユーザーニーズの把握	アンケート調査の実施回数(回/年)	随時実施	年1回

第2次「福岡市工業用水道中期経営計画」の達成状況					長期ビジョン 目標値 (R10 年度)	備考
R3 年度	R4 年度	R5 年度	第2次計画 期末値 (R6 年度)	第2次計画 達成状況		
68.9%	88.4%	88.4%	88.4%	A	90%	
36.6%	48.8%	48.9%	49.2%	A	52%	
50.1%	100%	100%	100%	A	完了 (R2 年度)	
1 回	1 回	1 回	年 1 回	A	年 1 回	
1 回	1 回	1 回	年 1 回	A	年 1 回	